

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
千曲市	東部地区(大字屋代・粟佐・雨宮・土口・生萱・倉科・森)	令和3年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	514.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	286.7ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	58.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	41.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	13.5ha
(備考)	

- 注1:③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

- ・田は、大型機械が入れるように、畦を取り払って耕作しやすくする必要がある。
- ・新規就農者や退職就農者を育てる必要がある。
- ・田は集積しやすいが、あんずなどの樹園地の集積は難しい。後継者不足。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・今後集積を担う中心経営体となるべき新規就農者や、退職帰農者を増やすため、行政や農協による金銭面や技術面での支援が必要。